

再編で新たなスタート

日立産業制御ソリューションズ

茨城県日立市に、日立製作所の中核企業として三菱日立パワーシステムズ・MHPとの日立産業制御がそれ誕生した。MHPは火力発電システム事業でグローバルトップを目指し、日立産業制御は日立製作所の産業プラント・ソリューション事業を支えるため、ワンストップサービス体制を整えた。両社の事業を紹介する。

三菱日立パワーシステムズ

高山 光雄社長に聞く



二一の多様化に対応 ワンストップ体制を構築

新会社設立の背景は、「現在、日立製作所では2015年度をターゲットとした中期経営計画を推進しています。その中でわれわれが所属するインフラシステム社は『社会イノベーション事業』を推進する社内カンパニーとして、その組織を4つのドメインである『都市・エネルギー・ソリューション事業』『水環境ソリューション事業』『産業プラント・ソリューション事業』『コンボイネット事業』に再編しました。再編の目的はマーケット型の事業体制に対することで、ソリューション力を強化し、お客様の経営課題や二つの多様性にいち早く対応していくことになります」。

一方で、日立情報制御ソリューションズ、日立アドバンストテクノロジーズ、日立リテクノシステムの設計、開発、製造事業を継承し、さらに日立情報サービスを合併して、日立情報制御ソリューションズ、日立アドバンストテクノロジーズ、日立リテクノシステム社と日立ラ産業制御関連の業務を支える主要組織と水戸エンジニアリング社を統合するとともに、インフラシステム社から、ソリューションエンジニアリング社を統合するなど、各社が培ってきた強い製造事業の5つに大きく分けて運営しています。

「このうち『産業プラント・ソリューション事業』を支える主要組織と水戸エンジニアリング社を統合するなどが結果しまして、各社の製品・技術を組み合わせて新しいソリューションを構築し、事業範囲および販路を拡大して迎えました。これにより、各社が培ってきた強い製造事業の5つに大きく

重複するところも、い

て、日立情報制御ソリ

ー・ソリューションズ、日立アド

バンストテクノロジ

ジーズ、日立リテクノ

システムの設計、開

発、製造事業を継承し、さら

に、ソリューション事

業を支える主要組織と

水戸エンジニアリング社

を統合するなど、各社

が持つてきた強い製

造事業を継承し、さら

に、ソリューション事